

令和6年度病害虫防除技術情報 第10号

令和6年7月30日
三重県病害虫防除所

県内でトビイロウンカの飛来が確認されました 被害の発生に注意し、早期の対策に努めましょう

1 対象作物：水稲（早期、普通期）

2 対象病害虫名：トビイロウンカ

3 発生状況

- (1) 御浜町の予察灯（60W白熱灯）で、7月20日と7月25日にトビイロウンカ（各1頭）の誘殺を確認しました（図1）。
- (2) 九州地方では、予察灯におけるトビイロウンカ誘殺数は早い時期から平年より多くなっています。また、愛知県や兵庫県においても、7月に予察灯への飛来が確認されています。
- (3) 名古屋地方気象台の発表によると、7月27日から1か月間の気温は平年より高い見込みであるため、トビイロウンカの活動に好適な条件が続くことが予想されます。

4 防除対策

- (1) 本種は株元に生息するので、液剤・粉剤を散布する場合は株元に十分かかるよう散布してください。
- (2) 出穂期以降に、カメムシ類の防除を兼ねて薬剤散布を行いましょう。
- (3) 薬剤は三重県農薬情報システムで検索することができます。
<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/mie>
- (4) 収穫時期が近づいている場合は、収穫適期の範囲内で早めに収穫し、刈り遅れによる被害拡大を防ぎましょう。
- (5) 感受性低下が報告されている農薬成分（表1）の薬剤は使用を避けるようにしてください。

表1 ウンカ類において感受性低下が報告されている農薬成分

【虫種】 トビイロウンカ

【農薬成分名】 イミダクロプリド、チアメトキサム、クロチアニジン、ブプロフェジン

5 その他

県内では令和2年に多発し、坪枯れ被害が発生しました（図2）。



図1 御浜町の予察灯で誘殺されたトビイロウンカ



図2 令和2年に発生したトビイロウンカによる坪枯れ被害の状況（左）と、株元のトビイロウンカ成虫（右）

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。